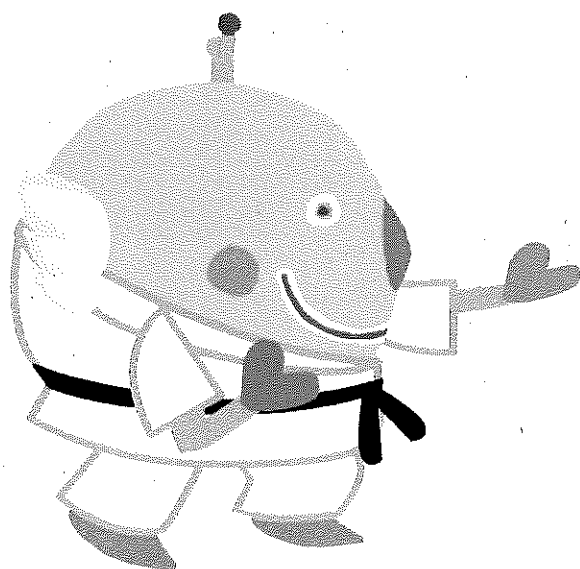


令和6年度
県民総合体育大会
兼国民体育大会 茨城県大会



空手道競技

期 日 令和6年5月12日(日)

会 場 東日本技術研究所武道館

主 催 茨 城 県
茨 城 県 教 育 委 員 会
(公財)茨城県スポーツ協会

主 管 (一社)茨城県空手道連盟

大 会 次 第

開 会 式 14:00

役員・審判団・選手入場

開 会 宣 言	(一社) 茨城県空手道連盟大会副委員長	市 毛 悟
国 歌 斉 唱		
大会会長挨拶	(一社) 茨城県空手道連盟会長	西 條 昌 良
競技上の注意	大会審判長	小 竹 順 一

役員・審判団・選手退場

競 技 形競技 14:15

(競技進行表をご参照ください)

競 技 組手競技 15:30

閉 会 予 定 17:30

大会役員

会長 大井川 和彦

副会長 森作 宜民 関 正樹 岡田 裕昭

顧問 中村 昌平 原 浩道 安藤 真理子 設楽 詠美子 秋山 哲男

大和田 健 黒澤 弘忠 下路 健次郎 中島 成雄 秋山 隆

綿引 憲男 田山 東湖 福田 太公 会田 真一 葉梨 康弘

下妻 利之 川田 進 葉梨 衛 黒沢 豊 白田 信夫

加藤 明良 清水 定明 大久保 進司 幡谷 定俊 中嶋 鉄郎

遮那 誠一 水田 重則 西内 博 中川 喜久治 西條 昌良

新谷 和也 大川 幹雄 岡田 広 井上 忍 堀口 卓司郎

藤原 孝幸 根本 太涛 伊沢 勝徳

委員長 藤田 知巳

副委員長 高橋 清 飛田 和宏 秋山 克巳 砂田 和広

委員 土井 一男 根本 政世士 高橋 勤司 岩間 信雄 鈴木 一美

鈴木 純一 白戸 元文 中川 繁昭 藤咲 厚郎 諏訪 正美

松枝 弘幸 中村 宏 海老澤 正道 川島 正敏 古矢 勲

折本 裕樹 額賀 富雄 小林 博史 宮下 護 廣澤 努

野澤 一実 鬼澤 真寿 大芦 昌治 高橋 義道 木内 広史

後藤 裕一 鴨志田 勝次 齊藤 克朗 柴田 淳 中沢 隆一

大塚 雅俊 高橋 昇 地頭 薫 萩野谷 豊光 横山 良子

久野 篤 熊澤 善信 河西 徹 久保 正幸 鹿窪 茂

鈴木 但義 福永 広明 鎮目 英俊 直江 良雄 田城 真一

相田 良裕 永盛 圭一 中條 文樹 宮崎 健太 稻見 誠

江連 昌治 中口 直仁 柳田 剛志 大久保 真弓 茂呂 允文

柳瀬 武史 小澤 伸介 大島 遼太郎 埴 秀斗 平澤 誉志幸

竹谷 淳

(順不同敬称略)

大会役員

顧問	葉梨康弘	梶山弘志
会長	西條昌良	
副会長	山岡恒夫 植木秀二	鈴木康之 人見順造
実行委員長	高橋昇	
実行副委員長	益子勝徳 日下田哲郎	小竹順一 宮本臣久
実行委員	内藤明 高橋直志 渡辺芳朗 武石良男 長洲直樹	植木俊勝 中寫達也 岩佐優一 藤原高彦
受付	県東地区・県南地区係員	
放送	県東地区・県南地区係員	
筆耕	大会委員会	
一口	県北地区係員 県東地区係員	県西地区係員 県南地区係員
救護	看護師 後方病院	黒澤輝江 誠潤会 水戸病院

競技進行表

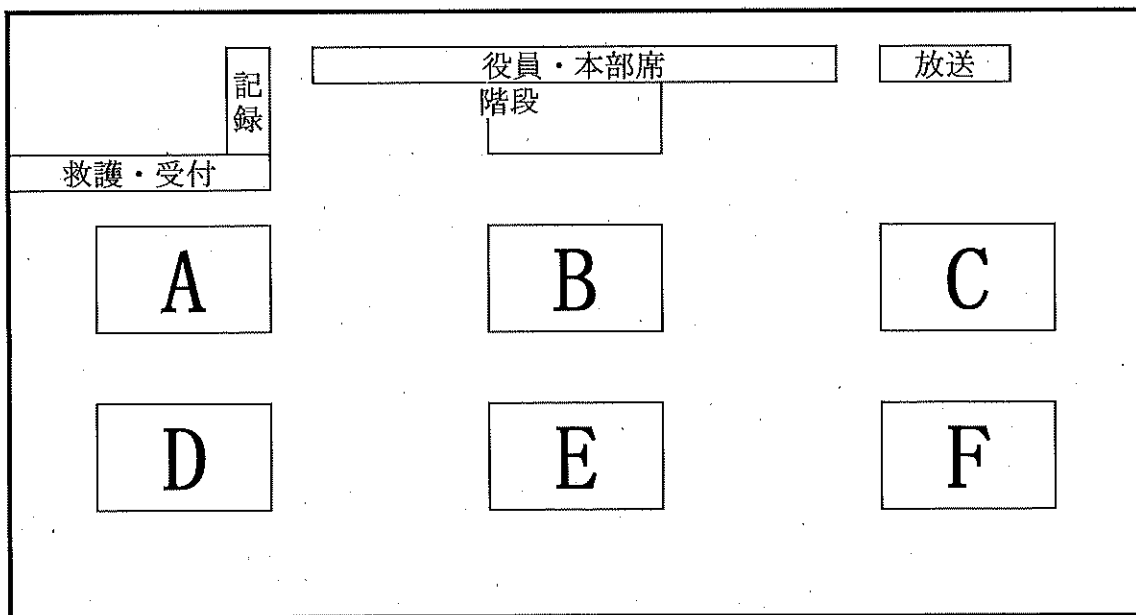
開会式 14時00分
 試合開始 14時15分

Aコート Bコート Cコート Dコート Eコート Fコート

形・組手 競技					
少年女子個人形	少年女子個人形	少年男子個人形	少年男子個人形	成年男子個人形	成年男子個人形
Aグループ	Bグループ	Aグループ	Bグループ	Aグループ	Bグループ
少年女子個人形	少年女子個人形	少年男子個人形	少年男子個人形	成年男子個人形	成年女子個人形
(A)準決勝ラウンド	(B)準決勝ラウンド	(A)準決勝ラウンド	(B)準決勝ラウンド	メダルマッチ	メダルマッチ
男子団体形					
メダルマッチ					
少年女子個人組手	少年女子個人組手	少年男子個人組手	少年男子個人組手	少年男子個人組手	少年男子個人組手
Aグループ	Bグループ	No.1~11	No.12~23	No.24~35	No.36~46
少年女子個人組手	少年男子個人組手	少年男子個人組手	成年女子個人組手	成年女子個人組手	成年女子個人組手
準決勝・決勝	A準決勝	B準決勝	50kg級	55kg級	—60kg級
少年男子個人組手	成年男子個人組手	成年男子個人組手	成年男子個人組手	成年男子個人組手	成年男子個人組手
決勝	—60kg級	—67kg級	—75kg級	—84kg級	84kg級

会場案内図

1F



※ 随時表彰を行います。対象選手は試合後コートに残り係員の指示に従って集合してください。

少年男子個人形

A			準決勝ラウンド			B			
1	大貫 晴斗	東洋大牛久					小澤 一護	水 城	11
2	服部 宏樹	古河第一					伊藤 大悟	東洋大牛久	12
3	出沼 広翔	水 城					大和田陽翔	勝田中等	13
4	磯山 大翔	古河第一					中山 裕都	古河第一	14
5	岡田 虎大	東洋大牛久					小原 由士	東洋大牛久	15
6	遠藤 暖和	水 城					小久保 格	古河第一	16
7	外間 春喜	古河第一					川田 充希	東洋大牛久	17
8	大和田楠月	東洋大牛久					浅川 大智	水戸第一	18
9	関口 漣	古河第一					吉田 大夢	東洋大牛久	19
10	木村 真将	水 城					中川 漣	水 城	20

メダルマッチ (3位決定戦)

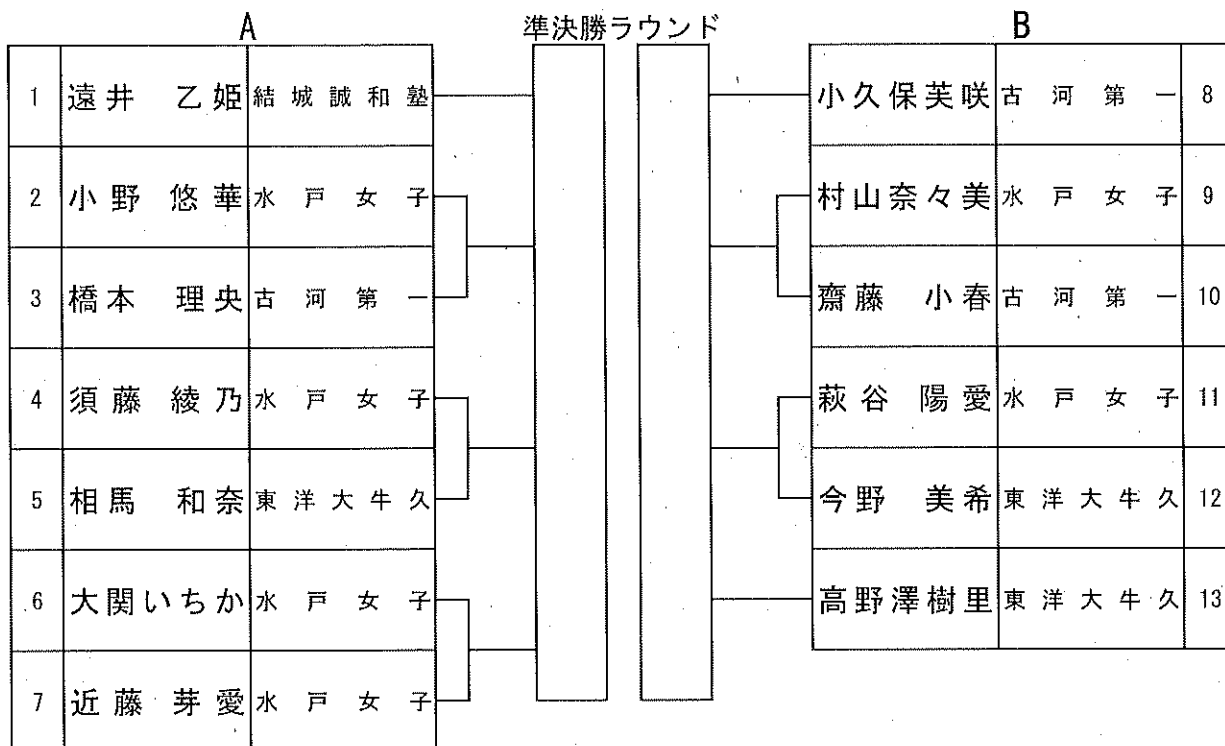
Aグループ2位				Bグループ3位
Aグループ3位				Bグループ2位

(決勝戦)

Aグループ1位				Bグループ1位
---------	--	--	--	---------

成績	選手名	学校名
1位		
2位		
3位		

少年女子個人形



メダルマッチ (3位決定戦)

Aグループ2位			Bグループ3位
Aグループ3位			Bグループ2位

(決勝戦)

Aグループ1位			Bグループ1位
---------	--	--	---------

成績	選手名	学校名
1位		
2位		
3位		
3位		

成年男子形

Aグループ

氏名	道場名	点数	順位	演武順
遠井 泰嘉	結城誠和塾			
栗原 秀元	水戸誠武館			
武井 翔平	水戸松濤館			
五十嵐神也	和空塾			

Bグループ

氏名	道場名	点数	順位	演武順
岩渕 凌	大和空手道			
仲丸 泰照	水戸誠武館			
浅子 颯優	水戸松濤館			
橋本 悠河	水戸誠武館			

決勝ラウンド

決勝戦(各グループ1位)

Aグループ

順位	氏名
1位	
点数	

VS

Bグループ

順位	氏名
1位	
点数	

3位決定戦(各グループ2位・3位)

Aグループ

順位	氏名
2位	
点数	

VS

Bグループ

順位	氏名
3位	
点数	

Aグループ

順位	氏名
3位	
点数	

VS

Bグループ

順位	氏名
2位	
点数	

成年女子形

	氏名	得点	形名	演武順	順位
1	五十嵐 梨紗	結城誠和塾			
2	米谷 亜夕	筑波大学			

男子団体形

	団体名	得点	形名	演武順	順位
1	石岡壮空会				
2	水城高等学校				

女子団体形

	学校名	得点	形名	演武順	順位
1	水戸女子高等学校				
2					

少年男子個人組手

A

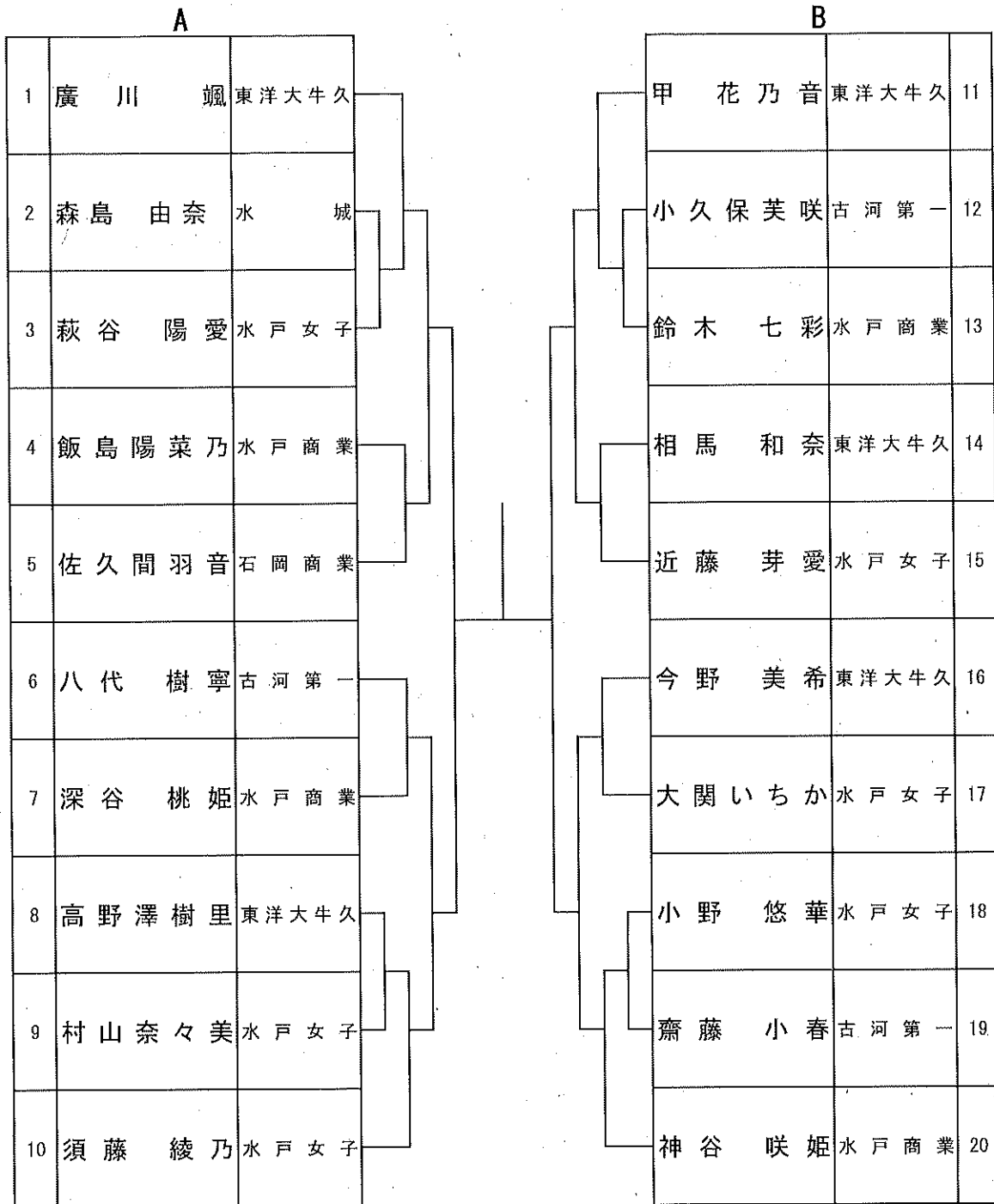
1	石井 成海	東洋大牛久
2	菊池 凱仁	水戸商業
3	関口 漣	古河第一
4	坂本 龍弥	水城
5	伊藤 大悟	東洋大牛久
6	浅川 大智	水戸第一
7	市村 春	水戸商業
8	岡田 虎大	東洋大牛久
9	小澤 一護	水城
10	小久保 格	古河第一
11	今 海心	波崎
12	松崎 颯	東洋大牛久
13	服部 宏樹	古河第一
14	金澤 蒼悟	水戸商業
15	杉田 大歩	水城
16	吉田 大夢	東洋大牛久
17	仲本 龍我	波崎
18	萩谷 流空	水城
19	有本 章一	波崎
20	小原 由士	東洋大牛久
21	海老澤 来輝	水城
22	富岡 陸	石岡商業
23	岡田 晃希	水戸商業

B

24	舘野 諒音	東洋大牛久
25	武田 琉聖	水戸商業
26	津久浦 佑樹	波崎
27	谷澤 龍之介	水城
28	大和田 楠月	東洋大牛久
29	中山 裕都	古河第一
30	飯田 拳大	波崎
31	小綿 昊希	石岡商業
32	鷺谷 真空	水城
33	大和田 陽翔	勝田中等
34	川田 充希	東洋大牛久
35	黒沢 颯馬	水戸商業
36	中原 大翔	石岡商業
37	出澤 凜太郎	水戸商業
38	大貫 晴斗	東洋大牛久
39	磯山 大翔	古河第一
40	大塚 将気	波崎
41	永田 龍心	水城
42	小堀 太馳	水戸商業
43	長谷川 颯飛	波崎
44	小松 祐己	水城
45	大島 啓昇	東洋大牛久
46	深谷 悠斗	水戸商業

成績	選手名	学校名
1位		
2位		
3位		
3位		

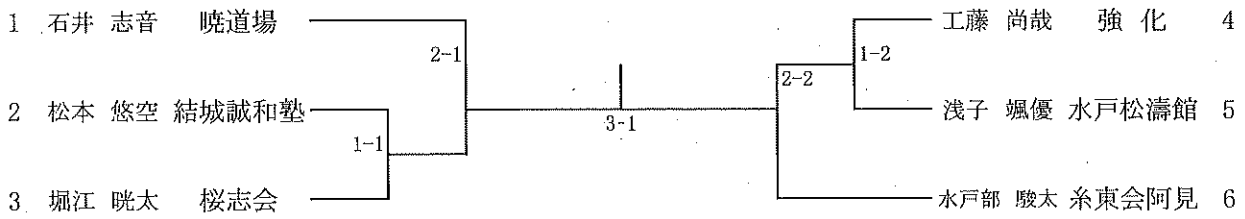
少年女子個人組手



成績	選手名	学校名
1位		
2位		
3位		
3位		

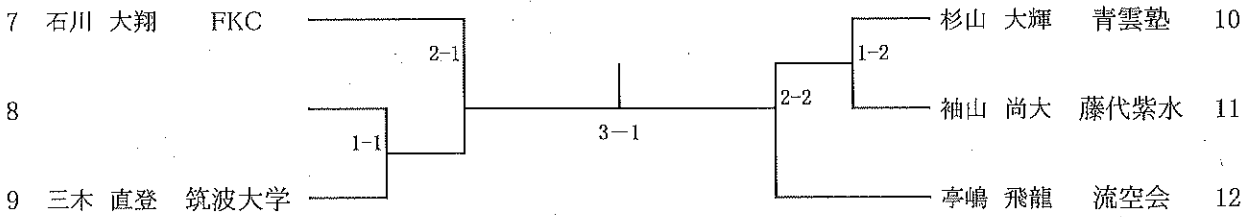
成年男子(-60kg)

表彰:優勝・準優勝



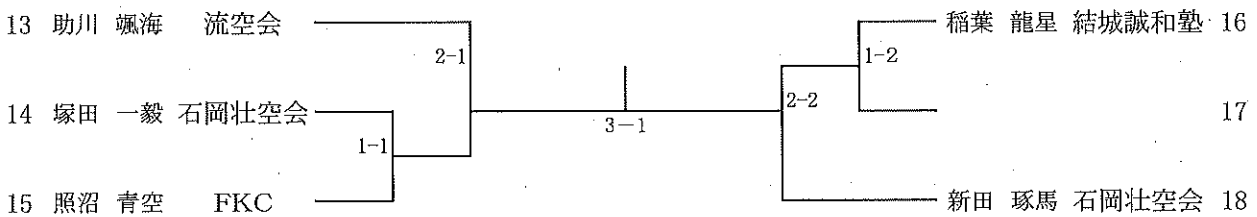
成年男子(-67kg)

表彰:優勝・準優勝



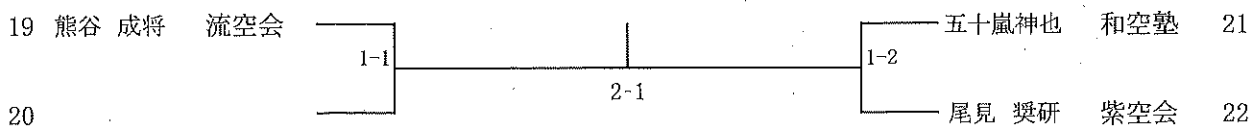
成年男子(-75kg)

表彰:優勝・準優勝



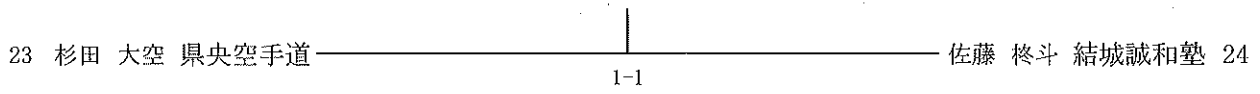
成年男子(-84kg)

表彰:優勝・準優勝



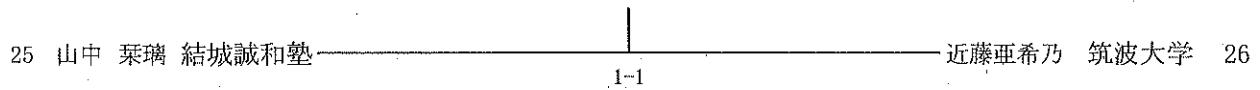
成年男子(84kg)

表彰:優勝・準優勝



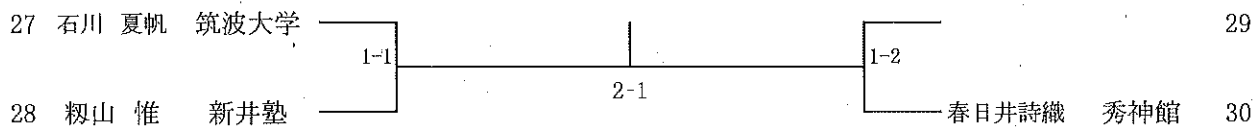
成年女子(50kg)

表彰:優勝・準優勝



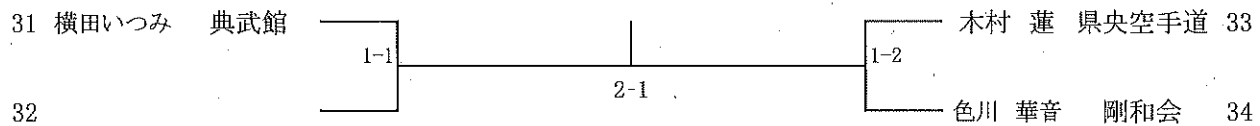
成年女子(55kg)

表彰:優勝・準優勝



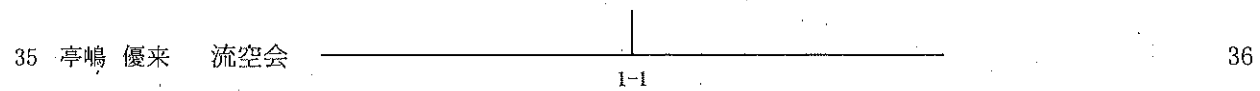
成年女子(-61kg)

表彰:優勝・準優勝



成年女子(68kg)

表彰:優勝・準優勝



令和6年茨城県民総合体育大会空手道競技会
兼関東空手道選手権大会県予選会の開催について

1. 日時 令和6年5月12日(日)
受付 12時00分 審判会議 13時00分
開会式 13時30分 試合開始 13時50分
2. 会場 東日本技術研究所武道館(堀原運動公園内)
3. 実施種目
 - (1) 成年男子の部
 - ① 団体組手(1チーム3名編成の市町村対抗)
 - ② 個人組手
 - 1) 有段Aの部
各階級上位2名を関東大会出場選手とする。
(ア) - 60kg級 (イ) - 67kg級 (ウ) - 75kg級
(エ) - 84kg級 (オ) + 84kg級
 - 2) 有段Bの部
 - 3) 有級の部
 - ③ 団体形(少年を含む4名をもって編成し、正選手は3名)
上位1チームを関東大会出場チームとする。
 - ④ 個人形
 - 1) 有段Aの部
上位2名を関東大会出場選手とし、上位1名が関東ブロック大会出場選手とする。
 - 2) 有段Bの部
 - 3) 有級の部
 - (2) 成年女子の部
 - ① 個人組手
各階級上位2名を関東大会出場選手とする。
(ア) - 50kg級 (イ) - 55kg級 (ウ) - 61kg級
(エ) - 68kg級 (オ) + 68kg級
 - ② 団体形(少年を含む4名をもって編成し、正選手は3名)
上位1チームを関東大会出場チームとする。
 - ③ 個人形
 - 1) 有段の部
上位2名を関東大会出場選手とし、上位1名が関東ブロック大会出場選手とする。
 - 2) 有級の部

(3) 少年の部

①男子

(ア) 個人組手

上位2名を関東大会出場選手とし、関東大会で上位1名が国体出場選手とする。関東大会で同等の成績の場合は、本大会上位の者が国体出場選手とする。

(イ) 個人形

上位2名は関東大会出場選手とし、上位1名が関東ブロック大会出場選手とする。

②女子

(ア) 個人組手

上位2名を関東大会出場選手とし、関東大会で上位1名が国体出場選手とする。関東大会で同等の成績の場合は、本大会上位の者が国体出場選手とする。

(イ) 個人形

上位2名を関東大会出場選手とし、上位1名が関東ブロック大会出場選手とする。

※平成26年度より県大会の出場選手枠は設定していません。

(4) 計量について

茨城県空手道連盟指導委員会委員の指示のもと厳正に行う。

4. 出場資格

- (1) 成年男子の部・成年女子の部の選手は、平成18年(2006年)4月1日以前に生まれた者とする。但し、団体形は15歳以上とする。(中学生は除く)
- (2) 少年の部の選手は平成18年(2006年)4月2日から平成21年(2009年)4月1日までに生まれた者とする。(中学生は除く)
- (3) 選手は、(公財)全日本空手道連盟会員であり、成年男女の選手については「JKF会員マイページ」に登録していること。
- (4) 茨城県空手道連盟会員であること。(当日の会員登録はできないので事前に手続きをすること。)
- (5) 選手は、(公財)全日本空手道連盟の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当する者であること。
 - ①日本国籍を有する者
 - ②日本国籍を有しない者は、日本永住許可の記入がある外国人登録済証明書又は3年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者
- (6) 所属団体は、茨城県空手道連盟もしくは茨城県高等学校体育連盟空手道専門部に加盟していること。

5. 競技規定

(1) 組手

- ①公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定により行う。
- ②トーナメント方式で行う。
- ③選手は、全空連承認品の安全具を着用する。
 - ・メンホー（VI・VII以上）・拳サポーター・ボディプロテクター
 - ※成年男子、少年男子はセイフティカップを着用する。
 - ※成年女子はチェストガードを着用する。
 - ・インステップガード・シンガード（一方の競技者が赤、他方が青）
 - ※少年は高体連認定品も可とする
- ④試合時間および勝敗判定ポイントは下記の通りとする。

・成年男子・女子	2分間	8ポイント差
・少年男子・女子	2分間	8ポイント差
・成年男子・女子決勝戦のみ	3分間	8ポイント差

(2) 形

- ①公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定により行う。

【少年個人形／成年個人形有段 A】

- ②旗判定トーナメント方式と得点方式で行う。

(ア) 予選ラウンド

ベスト16以下（ベスト8決定まで）は旗判定トーナメント方式とし、2名同時に行う。全空連第1指定形の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。

(イ) 準決勝ラウンド

- ・点数方式とし、1名ずつ演武する。
- ・ベスト8の選手をAグループとBグループそれぞれ4名に分ける。
- ・Aグループを赤帯、Bグループを青帯とし、以降メダルマッチまで帯の色は変わらない。
- ・演武順は抽選とする。
- ・第2指定形から選択し演武する。
- ・同点の場合は採用された最低点を比較し、次に最高点を比較し順位を決定する。それでも同点の場合は再演武とする。
- ・再演武では、予選ラウンドで使用した形は演武できない、ただし準決勝ラウンドで使用した形は繰り返し演武することができる。

(ウ) メダルマッチ

- ・点数方式とし、1名ずつ演武する。
- ・予選ラウンド、準決勝ラウンドで使用していない形を演武する。
(得意形含む)
- ・同点の場合は採用された最低点を比較し、次に最高点を比較し順位を決定する。
- ・それでも同点の場合は再演武とする。

- ・再演武では、予選ラウンドで使用した形は演武できない、ただし準決勝ラウンド、決勝ラウンド及び準決勝ラウンドの再演武で使用した形は演武することができる。

(3位決定戦)

- ・Aグループの2位とBグループの3位、Aグループの3位とBグループの2位が対戦し勝者が3位となる。

(決勝戦)

- ・Aグループ、Bグループ1位同士で対戦し、勝者が全体の1位、敗者が2位となる。

【成年有段 B/有級】

③旗判定トーナメント方式とする。

- ・形選択については下表のとおりとする。

【成年団体形】

④旗判定トーナメント方式とする。

- ・形選択については下表のとおりとする。
- ・分解は行わない

⑤試合形は下記の通りとする。

		予選ラウンド (ベスト16以下)	準決勝ラウンド (ベスト8以上)	メダルマッチ (決勝戦・3位決定戦)
少年個人形		第1指定形	第2指定形	得意形
成年 個人 形	有段A	〃	〃	〃
	有段B 有級	基本形 I~IV 第1 第2 指定形 (繰返し可)	予選ラウンドで使用していない 第1 第2 指定形 (繰返し可)	
成年団体形			第1 指定形	第2 指定形
			(準決勝戦まで 繰返し可)	決勝戦 (3位決定戦は行わない)

6. 表彰

(1) 団体戦

- 1) 組手の部 第3位まで公益財団法人茨城県スポーツ協会から賞状を授与。
- 2) 形の部 男・女とも、第3位まで公益財団法人茨城県スポーツ協会から賞状を授与。

(2) 個人戦

- 1) 組手の部・形の部とも、各階級第3位まで公益財団法人茨城県スポーツ協会から賞状を授与。

7. 参加費用 (傷害保険料を含む)

- (1) 団体戦 1チームにつき 5,000円
- (2) 個人戦 1種目 3,000円 2種目 6,000円

※入金期間 4月15日～4月21日の期間に入金ください。(期間厳守)

※本大会の参加費のみの入金としてください。

8. 申込み先及び期日

- (1) 申し込みは、各団体長の責任において、所定の様式により3月11日(月)から4月14日(日)までの期間にまとめて申し込むものとする。

※申し込み期間厳守

【銀行名】 常陸農業協同組合 【支店名】 御前山支店

【種別】 普通口座 【口座番号】 0013639

【口座名】 茨城県空手道連盟 代表 上久保 成人

(2) 申込先

1) 成年の部

茨城県空手道連盟 大会委員会委員 上久保成人 宛

Eメール sitokai_ogawa@yahoo.co.jp

2) 少年の部

茨城県立石岡商業高等学校

吉岡 賢祐

Eメール yoshioka.yasuhiro@yellow.ibk.ed.jp

- (3) 締切日 令和6年4月22日(月): 必着(申込締切後の受付はしない。)

- (4) 抽選会 令和6年4月26日(金): 高体連の先生方にお任せします。

9. 傷害処置

出場選手が競技中に負傷した場合、主催者において応急処置を行うが、その後の責任は負わない。万一に備えて、健康保険証を持参すること。また、各団体においても傷害保険等に参加しておくこと。

10. その他

- (1) 各種目、各階級上位8名を今年度茨城県空手道連盟指定強化選手とする。
- (2) 本大会に参加できない茨城県空手道連盟指定選手は、不参加理由を明記のうえ申し込み締切日までに強化委員会 強化委員長 飛田まで連絡すること。
- (3) 前年度強化指定選手、ふるさと制度活用で出場する選手において所属する茨空連加盟団体が無い場合は、茨城県空手道連盟 強化委員会から申し込みをする。

令和4年度より関東大会成年組手競技が5階級制となり、それに伴い本大会は関東大会の予選となるため試合当日は、5階級の体重に合わせて参加すること。

国体については、階級の区分が異なる為、後日、国体男子3階級各1名の3名、女子組手代表選手1名の選考会を行う。(日程は決まり次第連絡)